

# 震災の経験を記録する

— 阪神・淡路大震災とアスベスト被害を聞き取り、語り継ぐために

第1回 5月26日(日)

10:00-13:30

「被害の経験に向き合うとは  
どういうことか」

《プログラム》

10:00-10:30

記録映像上映

10:30-12:00

講演(1)「時を超えて肉声に迫る  
——アスベスト報道にかかわって」

講師：加藤正文(神戸新聞)

12:00-13:30

講演(2)「静かな時限爆弾  
——アスベスト被害の実相と向き合って」

講師：西山和宏(ひょうご労働安全衛生センター)

会場 神戸大学文学部B棟1階135教室(ホール)

\*参加費無料、事前申込不要。どなたでも参加できます。

第2回 6月23日(日)

「アスベスト被害の経験を聞く」  
(開催予定)

会場アクセス



主催：「災害とアスベスト：阪神淡路30年プロジェクト」実行委員会  
神戸大学地理学教室

共催：ひょうご労働安全衛生センター

神戸大学人文学研究科倫理創生プロジェクト

お問い合わせ：hartak76@people.kobe-u.ac.jp(原口)

(助成)地球環境基金、科研費 21K01045